

～最新技術を活用した三菱エレベーターリモートメンテナンス契約～
エレファースト スマート
「ELE FIRST-smart」4月20日から販売開始

三菱電機ビルテクノサービス株式会社は、AIを活用したリモートメンテナンス契約「ELE FIRST-smart」(対象：三菱機械室レス・エレベーター「AXIEZ-LINKs」)を、4月20日から販売開始します。

「ELE FIRST-smart」は、エレベーターの日々の運行データを蓄積し、機械学習により機器の劣化を予測して最適なタイミングでメンテナンスを行っていく他、遠隔からの閉じ込め時の迅速な救出や自動診断機能による地震時の早期復旧等をより一層強化します。さらに、エレベーター所有者の維持管理や利用者の利便性を向上する最適な情報や機能を提供するサービス等により、“止めない、止まらないエレベーター”と“いつでも「つながる」エレベーター”を実現します。

～「ELE FIRST-smart」特長～

1. 最新技術を活用した高度な保守サービスの実現
AIの機械学習を用いて劣化兆候や寿命を予測し故障を未然に防ぐ、先進のリモート点検システムを実現
AIによる解析で故障原因を推定する機能や遠隔から再起動する機能で故障による停止時間を短縮
2. 災害に強いエレベーターの実現
地震発生時に、休止したエレベーターを早期に復旧させる自動診断機能を強化
台風などの大雨時に、エレベーターの冠水被害を抑える自動運転機能を実現
3.所有者等・利用者いつでもつながるサービスの提供
所有者等の維持管理と利用者の暮らしに最適な情報や機能を提供、いつでも「つながる」エレベーターを実現

～「ELE FIRST-smart」サービス概要～

- ・サービス名：ELE FIRST-smart (エレファースト スマート)
- ・販売開始：2021年4月20日
- ・対象機種：三菱機械室レス・エレベーター「AXIEZ-LINKs (アクシーズ リンクス)」
- ・URL：https://www.meltec.co.jp/products/ev/elefirst-smart/ele_first_smart.pdf
- ・商品構成：

AI リモート点検システム	画像記録、解析
AI 遠隔点検	メモリーカード録画
遠隔試運転	防犯カメラ録画サービス *オプション
遠隔診断	モーションサーチ *オプション
メンテナンス品質	見えるサービス、つながる機能
専門技術者による点検、手入れ保全	快適 BGM
機器保証サービス	安心ディスプレイ
故障、閉じ込め、休止等の対応	プラス・インフォメーションサービス
遠隔閉じ込め救出	Web サービス
ELE-Quick (エレクイック)	スマートフォンサービス
AI 遠隔故障復旧	エレシル (エレベーター情報表示)
AI 故障解析システム	
大雨情報連動運転 *オプション	

【報道関係者からの問合せ先】

三菱電機ビルテクノサービス株式会社 広報室：内田、宮本 Tel：03-5810-5286 Mail：a_meltec-kouhou@meltec.co.jp

～「ELE FIRST - smart」主な機能概要～

AI リモート点検システム	
AI 遠隔点検 〈New〉	24時間365日きめ細かな遠隔点検を行い、故障に至る前の変調をキャッチした時は「情報センター」に自動通報します。また、日々の運行データを蓄積し、AIによる機械学習を新たに採用しました。運行データの傾向や変化から、故障に至る前の「予兆」を「変調」よりも先に捉え、最適なタイミングでメンテナンスを行っていきます。
遠隔試運転 〈New〉	早朝などエレベーターの利用が始まる前の時間帯に自動で試運転を行い、走行中の振動や異常音の有無を確認すると共に運行データを収集します。これにより変調状態をより軽微な段階でタイムリーにキャッチします。
遠隔診断 〈拡充〉	深夜などエレベーターの利用が少ない時間帯に、通常運転から「診断運転モード」に自動で切り替え、運転性能や各安全装置などさまざまな機能を詳しく診断します。「ELE FIRST - smart」では、診断内容を拡充し、さらに高精度化しました。

故障や閉じ込めへの対応	
AI 故障解析 システム 〈New〉	これまで培ってきたノウハウを元に、故障状況別にエンジニアの対応内容をマニュアル化しています。これに加えAIにより過去の故障統計を機械学習し、同様のケースにおける原因を推定し可視化します。復旧作業を迅速にサポートし、故障による停止時間の短縮化を図ります。
遠隔閉じ込め 救出〈拡充〉	閉じ込め発生時はエレベーターから「情報センター」に自動通報。遠隔操作により約10分※1で利用者を救出します。「ELE FIRST-smart」では閉じ込め状況により、遠隔で救出できる対象を拡大し、閉じ込められたご利用者の早期救出を図ります。
AI 遠隔故障 復旧〈拡充〉	故障によりエレベーターが停止した際は、「情報センター」で受信した信号をAIで解析して、エレベーターを再起動して復旧する指令を行います。「ELE FIRST - smart」では、故障した階を通過する指令を送信することが可能になり、故障していない階をご利用できる状態にします。

※1 情報センターでの受信から音声による救出確認までの目安時間

災害（地震・台風等）への対応	
大雨情報 連動運転 〈New〉	台風等の大雨によるエレベーター機器への被害を最小限にするために、気象庁の大雨情報※2と連動し、エレベーターを自動で上方階に待機・休止させ、冠水・浸水等による被害防止を図ります。
エレクイック ELE-Quick 〈拡充〉	地震時管制運転装置で休止させたエレベーターをELE-Quickが異常の有無を自動診断し、異常がなければ運転を再開します。これまで約30分かかっていましたが、「ELE FIRST-smart」では最短約15分※3で運転を再開します。また、休止エレベーターをより多く運転再開できるように、診断範囲を拡大します。（2016年4月に発生した最大震度7を観測した熊本地震では、休止エレベーターの約30%がエレクイックの対象範囲でしたが、今回の機能拡充により、約50%まで拡大できる見込みです【当社試算】）

※2 気象庁より発信される「大雨警報（浸水害）の危険度分布」のデータに連動

※3 最下階から最上階の高さが30mで微速走行診断を行わない場合

ご利用者向けのサービス	
スマートフォン サービス 〈基本サービス化〉	専用のアプリが入ったスマートフォンを携帯して、発信機端末を設置したエレベーターホールに近づけば、エレベーターを自動で呼び出し、ボタンを押すことなく事前登録した行き先階まで運転してくれます。また、建物内ではアプリ上の任意の操作から、その都度、呼び出しや行き先階を指定することも可能です。
プラス・インフォメーション サービス 〈基本サービス化〉	「安心ディスプレイ」を情報メディアとして活用し、静止画ニュース、天気予報、今日の占い、保守予定日などを表示します。また、お客様ご自身で自由に画面を作成し、カゴ内のディスプレイに表示することもできます。
エレシル （エレベーター 情報表示）	エレベーターの乗場等に貼付した2次元コードのシールを読み取るだけで、自身のスマートフォンからエレベーターの運転休止情報や地震対応状況を知ることができます。また、保守予定日の確認も可能です。

*各サービスは、エレベーター仕様やその他条件により実施できない場合があります。